

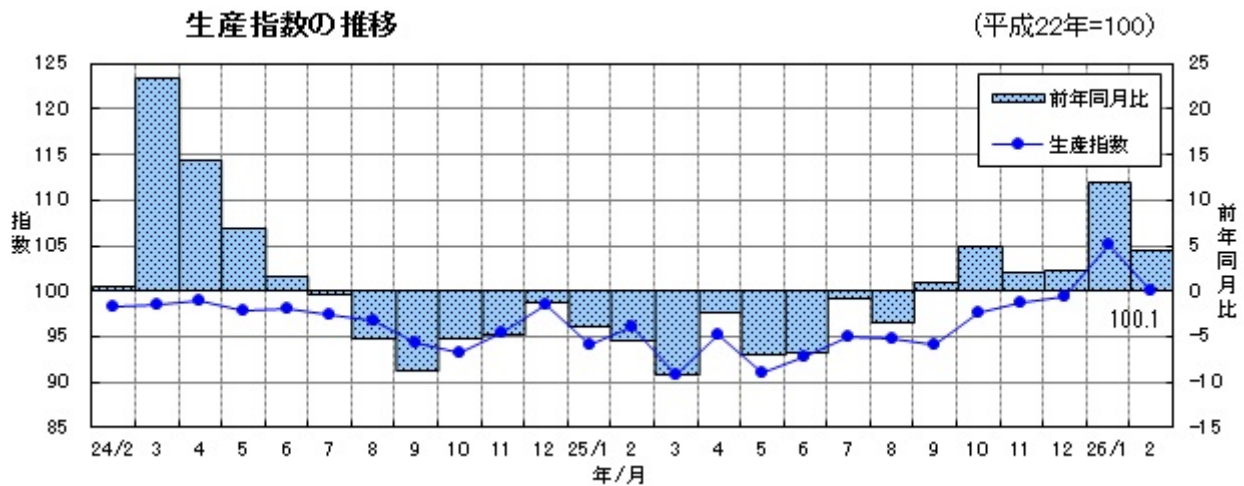
生産指数は大雪の影響で前月比 4.8%減、上昇基調は変わらず (静岡県鉱工業指数 平成26年2月分速報)

1 生産指数の動き

2月の鉱工業生産指数（季節調整済：平成22年=100）は100.1となり、前月比は4.8%減と5か月ぶりに低下した。

また、前年同月比（原指数）は4.3%増と6か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、食料品・たばこ、非鉄金属、電子部品・デバイス等が上昇する一方、輸送機械、化学、電気機械等が低下した。

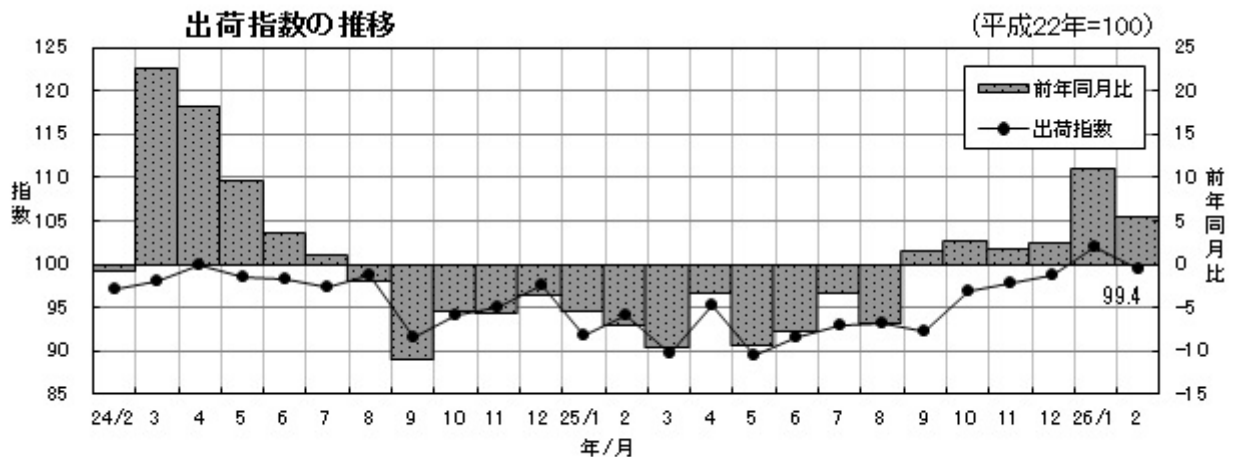


2 出荷指数の動き

2月の鉱工業出荷指数（季節調整済：平成22年=100）は99.4となり、前月比は2.6%減と5か月ぶりに低下した。

また、前年同月比（原指数）は5.5%増と6か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、電気機械、ゴム製品、情報通信機械等が上昇する一方、輸送機械、化学、金属製品等が低下した。

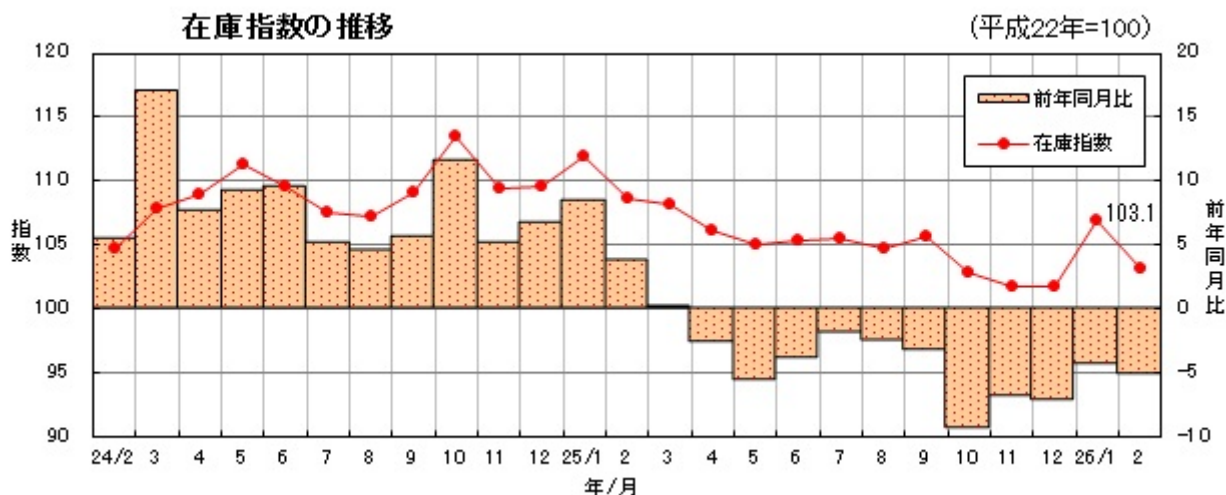


3 在庫指数の動き

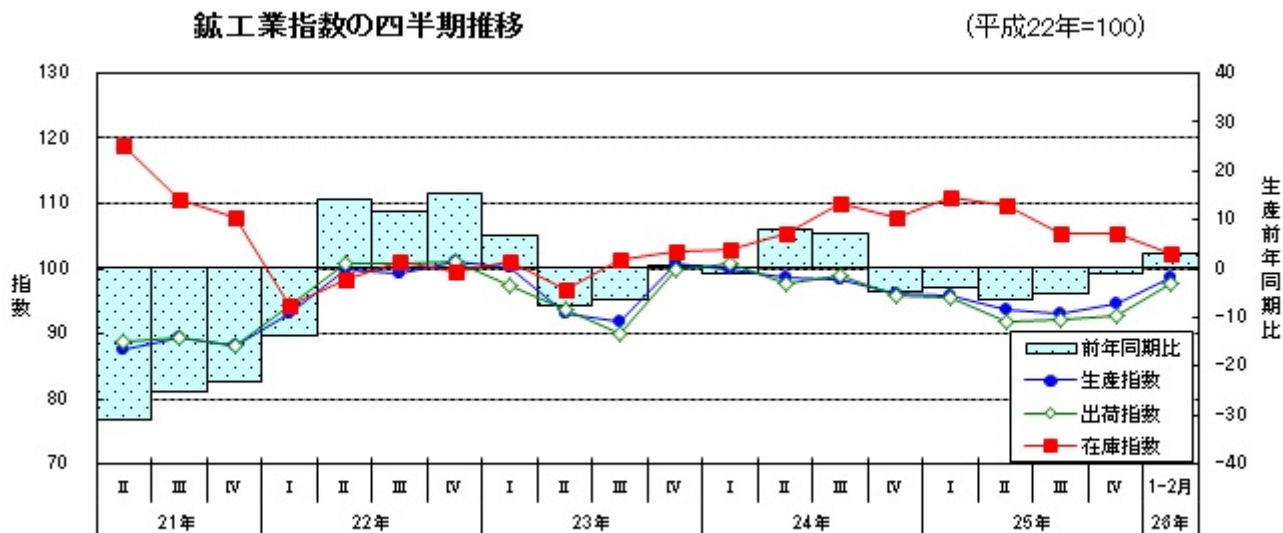
2月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は**103.1**となり、**前月比は3.6%減**と3か月ぶりに低下した。

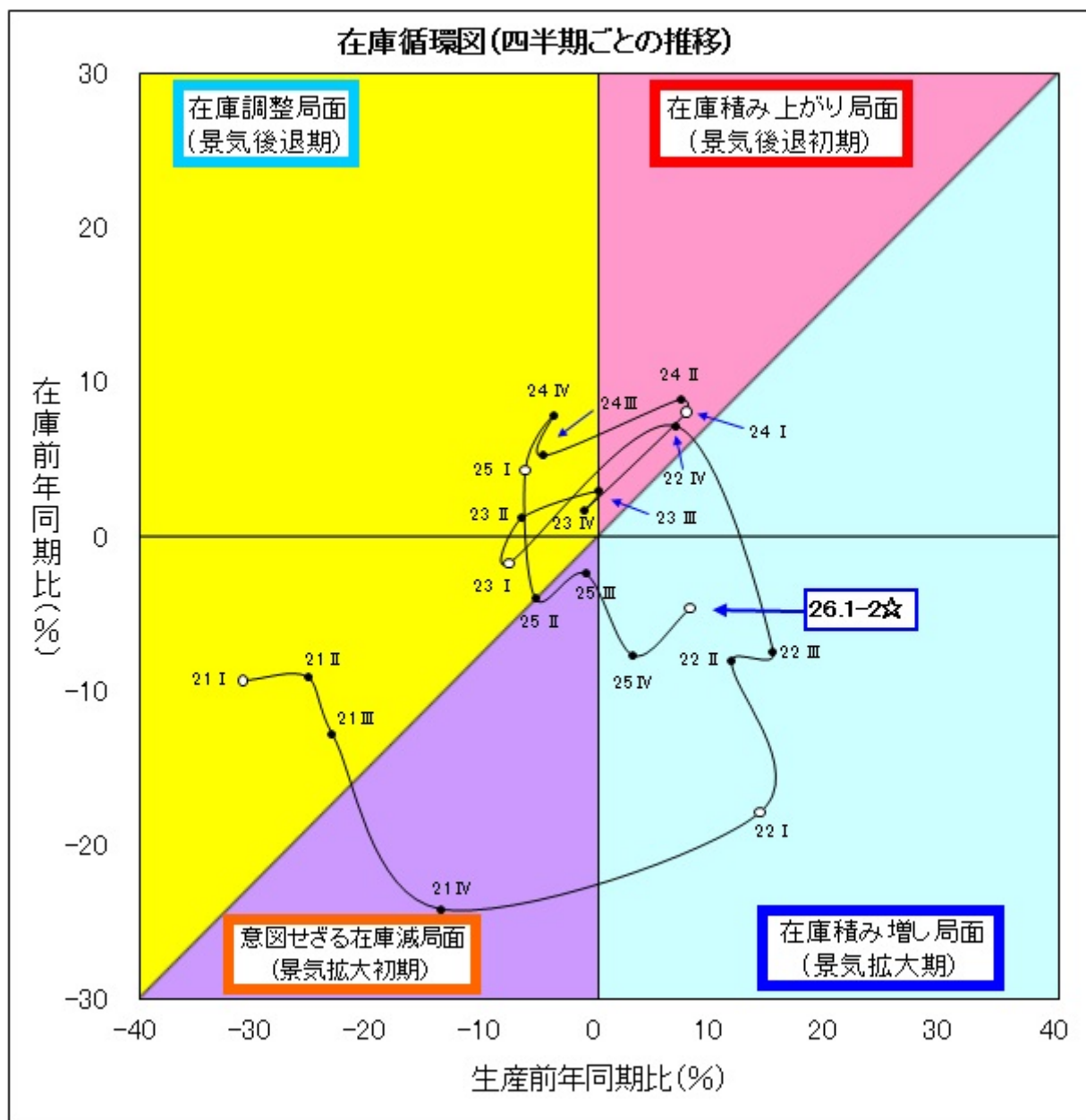
また、**前年同月比**（原指数）は**5.1%減**と11か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、金属製品、その他製品、非鉄金属等が上昇する一方、輸送機械、化学、食料品・たばこ等が低下した。



<参考> 四半期推移及び在庫循環図





☆ **在庫積み増し局面 (景気拡大期) ← 今季はここに該当**

需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。

- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ **在庫調整局面 (景気後退期)**
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。